



梅島小だより

よく見ること

校長 江原 敦史

ある教室の前に、観察カードが掲示されていました。

植物を観察して気付いたことを書いたものです。

自分の言葉で端的に書かれた内容を見ると、よく気付いたなと感じるものがありました。

対象となった植物は、身近によくあるものです。

ややもすれば「知っていること」が邪魔をして、「見たつもり」になりかねません。

しかし、子どもたちの「気付いたこと」は、自分の思い込みや知っていることにとらわれない、素直な子どもたちの気付きのように思えました。

「よく見ること」は、意外と難しいものです。

それは、「知っていること」や「思い込み」が邪魔をして、よく見ことをしなくなってしまうからです。

現代は情報が比較的手に入りやすいことから、学習する前から子どもたちが「それ、知ってる」という気持ちになっていることがよくあります。

そのような子どもたちに、「よく見ると気付くことがたくさんある」ことに気付かせ、「よく見ると発見がたくさんあって楽しい！」という気持ちにさせるのが、私たち教師の役目です。

先の子どもたちの観察カードは、子どもたちが「よく見ること」の楽しさを感じていたに違いないと思いました。

この「よく見ること」は、実は私たち教師が子どもたちを見る上でも非常に大切なことです。

それは、「この子はこういう子」と思い込んでいたり、「この子のことはよく知っている」つもりになっていたりすると、子どものちょっとした変化に気付かない恐れがあるからです。

私たち教師も子どもに対する思い込みを捨て、しっかりと子どもたちのことを見ていこうと思います。

<お知らせ>

夏季休業中に、校内のエアコンを全て入れ替える工事が実施されることになりました。

この工事の関係で、「チャレンジ教室(夏季学習教室)」や「個人面談」の日程が、年度当初にお示した学校行事予定の日程から変更せざるを得なくなりました。

詳しくは、別途配布するお便り等でご確認いただければ幸いです。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。